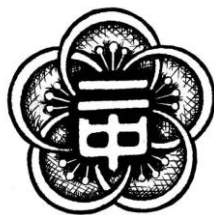


中野区立第二中学校学校だより

若葉 第178号



平成28年10月20日

平成28年度第6号
発行者：校長 池田浩二
広報委員会

10月10日 体育の日

校長 池田浩二

10月7日で28年度前期が終了し、11日から後期がスタートしました。今年度もちょうど半分が終わり、学校行事が盛りだくさんの後期を迎えることとなります。ご存知の方は少ないかもしれませんが、8日からの3連休は中野区の公立小中学校では夏休みや冬休みと同じ秋休み（秋季休業）と位置付けられています。2学期制開始当初は、3連休と前後を含めて5日程度が秋休みとされていましたが、現在は授業時数の不足を補う意味などもあり、カレンダー通りの3日となってしまいました。

今年は久しぶりに10月10日が体育の日となりました。ハッピーマンデー制度が導入されてから、10月の第2月曜日が体育の日となりましたが、1964年の東京オリンピックの開会式が10月10日に行われたことを記念して体育の日と定め



本五ふれあい公園と二中

られたことはよく知られています。10月10日は気象的に見ても晴れの特異日だということで、開会式当日は雲一つない快晴でした。航空自衛隊ブルーインパルスによって国立競技場の上空に描かれた五輪のマークは、ある年齢以上の方たちには懐かしい情景となっています。

さて、今までにもいろいろな場面で紹介してきましたが、中野区内の中学校でマラソン大会が残っているのは、二中だけになってしまいました。昨年までは体育の日前の秋晴の中、昭和記念公園で実施していましたが、今年度からは二中隣にオープンした「本五ふれあい公園」と、近隣の道路を使ったマラソン大会に変更していこうと考えています。

内容については現在検討中ですが、「駅伝の部」と「個人走の部」に分け、PTAのみなさんにも道路の角々に立っていただき、コース誘導などでお手伝いいただき大会にしていきたいと考えています。今年度からはオリンピック・パラリンピック教育の一環として、地域でのスポーツ交流を意識して取り組んでいこうと考えていますので、この大会を二中の新たな伝統として、生徒に愛されるものにしていきたいと思っています。

一中野区総合体育大会 連合陸上競技大会

9月27日（火）、駒沢オリンピック公園陸上競技場で中野区の陸上大会が開催されました。本校からは20名の生徒が参加し、それぞれが競技や補助役員で力を発揮しました。入賞者は次のとおりです。



暑い中応援していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

共通男子砲丸投	第2位	9m10	3A 新豊 大海				
3年女子 100m ハードル	第3位	19" 11	3C 松井 來奈				
共通男子 400m	第3位	58" 91	3C 鈴木 爽太				
3年男子 100m	第4位	12" 42	3C 木谷 生				
1・2年走幅跳	第5位	4m79	2B 佐藤 憲汰				
共通男子 200m	第6位	26" 52	3A 米原 瑞紀				
3年女子走幅跳	第7位	4m00	3A 初叶夕-夏鈴				
共通女子 1500m	第8位	6' 03" 77	2A 白石 美波				
共通女子砲丸投	第8位	6m89	2B 内山 珠李				
2年女子 4×100m リレー	第7位	59" 07	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tbody> <tr> <td>2B 内山 珠李</td> <td>2A 中村 奈々</td> </tr> <tr> <td>2B 岡田 仁菜</td> <td>2A 白石 美波</td> </tr> </tbody> </table>	2B 内山 珠李	2A 中村 奈々	2B 岡田 仁菜	2A 白石 美波
2B 内山 珠李	2A 中村 奈々						
2B 岡田 仁菜	2A 白石 美波						



一生徒会役員選挙



10月4日（火）に新たな生徒会本部役員を決める、立会演説会と選挙がありました。今年度も中野区選挙管理委員会の方々に協力していただき、実際の選挙で使われる投票箱と記載台をお借りして、本物の選挙に近い形を体験することができました。選挙管理委員会の生徒も事前の委員会で、投票箱の設置の仕方を習いました。そして当日は、選挙従事者として腕章をつけて活動をしました。

今年度は7名の生徒が立候補し、応援演説を引き受けた生徒達もサポートをしていました。どの立候補者も、二中をよりよくしたいという気持ちが込められていました。これから代表として地域や他校に二中の素晴らしさを伝える役割を果たすためにも、全校生徒からもらった一票一票を忘れずに、皆のために働いていってほしいと思います。



—学校保健委員会—

9月20日学校保健委員会が開催されました。学校保健委員会とは、生徒の健康を保持増進するために、保護者、学校医、先生方が連携し、話し合いを行います。

健康診断の結果を報告し、二中生の健康課題について話し合いました。歯科医の先生からは、「むし歯の保有率が高く、また、受診をする人も少ないようです。むし歯は、早期治療が大切です。また、歯ブラシでは、磨けない部分もあるので、定期的に歯科医にケアをしてもらうことも必要です。」内科の先生からは、「睡眠時間の短い生徒が多いようです。体や頭の発達にも、大きな影響があるので、早寝早起きを心がけて下さい」など多くのアドバイスを頂きました。



—前期 終業式—

10月7日（金）に前期終業式が行われました。4月の入学式に始まり、1年生の宿泊学習、2年生の職場体験、3年生の修学旅行、そして全校生徒による運動会など、行事が盛りだくさんの半年でした。式の中で、3年生の飯野海里くんが前期を振り返って書いた作文を朗読しました。前期学級委員となり、仕事をする中でうまくいかなかったこと、また、野球部キャプテンとして最後の大会で悔しい思いをしたこと、そんな後悔から再び頑張ろうと思い直した気持ちが、後輩へのこれからの励ましと共に書かれていました。後期になって、生徒会役員・新委員に変わり、活動の中心も1・2年生に移っています。3年生は、自分の進路決定に向けて、しっかり向き合って努力していく大事な時期になります。大きな行事も控えています。悔いのないよう何事にも思いっきり取り組み、それぞれの役割をしっかり果たすことでより良い二中を目指してほしいと思います。

—後期 始業式—

新鮮な気持ちで後期の始まりの抱負を2-Aの田口莉青さんが述べてくれました。（以下 抱負一部抜粋）

早くも中学校生活の中間地点を折り返す時となりました。学級委員として後期にやっていきたいことは、クラス全員が自分の意思を持って行事参加できるような活気のあるクラスにすることです。これから文化発表会やマラソン大会があります。文化実行委員や体育実行委員、そしてもう一人の学級委員の力を得てクラスの団結を深めていきたいです。

また、3年生にとっては、進路選択の大切な時期となります。その為私達2年生が生徒会を始め、委員会や部活動などで中心となって行動していかなければなりません。この責任を自覚し、後期をスタートしていきたいと思います。

（次のページに続きます）



また、生活面と学業面では2年生は学校生活にも慣れ、学習内容も徐々に難しくなっているため、中弛みしないよう今一度気を引き締めていきましょう。

1年生も、学校生活に慣れてきたと思います、多くの行事に積極的に参加していきましょう。

1、2年生は、多くの行事や活動を通して学級学年の団結をしっかりと固めると共に、中野第二中学校の伝統を継承しなければなりません。3年生の支援や助言を受け、より活発で自分の力を発揮し、良い学校生活を送るために努力していきましょう。

—鎌倉社会科見学—

2年生は、社会科見学へ向けて9月から事前学習を進めてきましたが、10月14日（金）、秋晴れのなか鎌倉へ行ってきました。実行委員会で「五感で感じて学ぼう鎌倉2016」というスローガンを掲げ、全行程班行動で、自分たちで見学場所を話し合いで決め、電車やバスの時刻を検索し、一日の行程を計画。実際にその計画に沿って班員で協力し合い、途中のトラブルやわき起こった課題を自分たちで解決できた班、日常では知れなかった班の仲間一人一人のよさを知ることができ、絆が強くなった班、緊張しながらも外国からの旅行客の方々に声をかけ、英語でインタビューしてコミュニケーションを上手にとった班、誘惑に負けてしまい反省すべき点が多く残った班とさまざまでしたが、古都の鎌倉の良さを五感で感じる事ができた貴重な一日となりました。



—特別支援教育の取り組み—

「合理的配慮とは？」

子どもたち一人ひとり、誰もが違った個性を持っています。得意なことも苦手なこともあるので、中には、みんなと同じ方法、同じペースでは、学ぶのが難しい場合もあります。そんなとき、視力が悪い人がメガネをかけるように、その子にピッタリの方法が見つければきっと学びやすくなるはずです。子どもたちが学校で学びやすくなるための工夫。それが、「合理的配慮」です。

【理解できる伝え方】

1. 視覚的に伝える *実物を見せる、写真を見せる、文字で書いて見せるなど、その人にわかる方法で。
2. 抽象的なことを具体的に示す *「もうちょっと」→「10数えるまで」「タイマーが鳴るまで」
3. 肯定的に伝える *禁止や否定（「だめ」「やめなさい」）ではなく、どうすれば良いかを伝える。）
4. 穏やかに伝える *感情ではなく、論理的に説明する。怒ったり、厳しき叱ることは、逆効果になったり、強い不安を引き起こすこともある。

二中でも、タイマーで時間を具体的に伝えたり、パワーポイントを使って視覚的に伝えたりしています。今後も、全ての子どもたちが参加しやすい学校、『わかりやすい授業』をするために授業や指導を工夫していきたいと思っています。